

9月定例会は、市長から提出された令和4年度決算議案の審査を行うため、9月11日決算特別委員会を開催しました。議長と監査委員を除く委員で構成され、質疑通告制により慎重に審査を行いました。委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部についてお知らせします。

決算特別委員会で審査

議員

ワクチン接種者の予測に対し、実施率は想定に近くなっているか。今も感染者は減少しておらず、接種のメリット周知がより必要と思う。対策についての見解はどうなっているか。

回答

令和4年度の接種計画では、接種者総数61,264人、接種率74.2%で想定していたが、実績は58,127人、接種率70.4%であった。想定より4%程度低いものの、高齢者や基礎疾患を有する方等を対象とした3回目以降の追加接種率は想定通り60%接種率で実施した。厚労省の啓発資料によると、秋以降の接種に用いるワクチンは、重症化予防効果はもとより発症予防効果の向上が期待されると考えられている。本市も引き続き、予防接種と感染予防について広く周知していく。

決算議案

新型コロナワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策として、市民に迅速で安全な新型コロナウイルスワクチン接種を推進するための体制整備を実施する。

決算額 2億2,175万227円



議員

手数料と委託料の内容は。

回答

手数料は、主に各種ポータルサイトを介した寄附について、手数料を運営会社に支払うもの。その他、クレジットカード決済に伴う手数料、返礼品配送にかかるシステム連携手数料、税控除関係の処理手数料等となる。委託料は、ふるさと納税にかかる運営業務を委託したもの。主な業務内容は、寄附情報管理、返礼品の在庫及び配送管理、返礼品ページ制作、ポータルサイトの運用、返礼品の新規開拓、寄附者及び返礼品提供事業者からの問い合わせ対応等となる。

決算議案

ふるさと寄附金事業

市及び市の特産品をPRし、ふるさと応援寄附を募ることにより、市の知名度向上並びに地域振興を図る。

決算額 1億5,488万2,853円



▲決算特別委員会議案審査

決算議案

高齢者等ごみ出し支援事業

高齢者等で家庭でのごみ出しが困難な世帯に対して、ごみ出し支援を行う行政区へ交付金を交付する。また、これにより住んでいる行政区とのつながりを深め、見守り活動や行政区の脱退防止を目的とする。

決算額 11万3,650円

議員

当初予算に対しての執行率を見ても、事業の方向性には大きな課題があると思うが来年度予算編成における課題を伺う。

回答

高齢者等ごみ出し支援事業については、令和4年度にモデル地区を選定し、試験的に事業を開始、令和5年度より本格的に事業を開始したところである。直近の課題として、事業の周知及び地域住民の協力が必要不可欠となっている。周知は、区長便を活用したチラシの配布及び、民生委員や福祉委員へ説明会等を開催することで、広く周知できるよう努めていく。

決算議案

元気わくわく支援事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して見守り支援を含めた、生活支援を行うことで、高齢者福祉を推進し安心して生活できる地域社会づくりを目指す。

決算額 339万5,943円

議員

減額理由に対象者を精査したとの記載があるが、どのように精査したのか。

回答

愛の定期便事業の利用申請時にはチェックリストにより生活状況を確認し、見守りが必要な対象者であるか判断している。他の見守り事業を利用している場合は対象者から除いている。

決算議案

合併特例推進事業

町村合併による行政区域の拡大により、市民生活の行動範囲が広がったものの、その移動手段は自家用車に依存することになるため、高齢化社会を踏まえた、交通弱者に対応するため、快適な移動手段の確保を目的とする。

決算額 5,770万4,033円

議員

コミュニティバス利用実績について利用実績は増えているのか、順調なのか。また、集客の無い時間帯の運行変更を精査しているか。具体的な取り組みについて伺う。

回答

利用者数は、令和2年度23,119人、令和3年度27,824人、令和4年度41,694人と増加している。利用者の少ない時間帯やルートに対しては、今後、地域公共交通会議に図りながら改善をしていく。

決算審査は、次年度予算編成につなげるための大事な審査です。ここでの審査を踏まえ、予算編成し、予算審査を経て、事業が実施されます。このようなサイクルを繰り返し、市政運営のさらなる向上が図られます。

